



令和6年1月17日
生涯学習課

池田孤邨筆「紅葉に流水・山景図屏風」 高精細複製品の受贈式を中止します

1月12日にご案内いたしました受贈式は、諸般の事情により中止いたします。
市内巡回展示につきましては、下記のとおり実施いたします。
なお、寄贈いただく屏風の詳細については、別紙をご参照ください。

1 市内巡回展示の会場および日時

- 水原公民館1階 「市民ギャラリー」(阿賀野市山口町一丁目2番14号)
1月25日(木)～2月2日(金)
 - 笹神支所2階 「ロビー」(阿賀野市山崎77番地)
2月6日(火)～9日(金)、13日(火)、14日(水)
 - 安田交流センター1階 「交流ホール」(阿賀野市保田1756番地1)
2月16日(金)～21日(水)
 - 市立図書館 「ギャラリー」(阿賀野市曾郷1028番地)
2月23日(金・祝日)～3月1日(金) ※2月26日(月)を除く。
- ※展示時間(共通) 午前9時30分～午後4時30分



阿賀野市イメージキャラクター
「ごずっちょ」

【問い合わせ】

担当：生涯学習課 文化行政係 北見
電話：0250-62-5322 (内線321)

mail: syogaigakusyu@city.agano.niigata.jp

◇池田孤邨（いけだこそん 1802? -1868）

江戸後期に活躍した日本画家です。阿賀野市(水原近辺)出身。
画家を志して江戸に出て、酒井抱一の家に住み込み、働きながら学びました。
師の酒井抱一は江戸琳派を代表する人物です。孤邨は抱一の画風をうけつぐ高弟として活躍し、茶道や和歌にも優れ、書画の鑑定なども得意としました。
孤邨の代表的作品は国内外の著名な美術館が所蔵しています。

◇紅葉に流水・山景図屏風

表側には大胆に配された金地を背面に紅葉と秋草の間を群青の川が流れる色鮮やかな世界、対照的に裏側には山間に広がる水辺の風景が水墨のモノクロームで描かれる。
本作は孤邨が40代後半から没年まで過ごした両国久松町の自宅で描かれ、孤邨が最も脂の乗った50代半ばに完成させたことが明らかになっています。
米国スミソニアン国立アジア美術館(フリーア美術館)所蔵。

◇米国スミソニアン国立アジア美術館(フリーア美術館)

所蔵作品は、実業家チャールズ・L・フリーア(1854-1919)が収集した美術品を中心に約2万6000点に上り、うち日本美術は1万2700点を数え、国宝級の作品を含め、世界屈指の充実度を誇りますが、フリーアの遺言により所蔵作品は門外不出となっているため、現地でしか鑑賞できません。

◇綴プロジェクト

綴プロジェクト(正式名称:文化財未来継承プロジェクト)は特定非営利活動法人京都文化協会とキヤノン株式会社が共同で取り組む社会貢献活動です。

日本の貴重な文化財には海外に渡ったり、国宝に指定され大切に保管されたりして、鑑賞の機会が限られている作品がたくさんあります。

その美しさを、できるだけ多くの人に見てもらいたい。大切なオリジナル作品を劣化から守り、保存して、自分たちの子孫のために、次の時代へ継承していきたい。このような思いから、2007年「綴プロジェクト」が始まりました。

キヤノンの先進技術と京都伝統の技の融合により、オリジナルの文化財を限りなく忠実に再現し、そのオリジナル作品にゆかりのある自治体などへ複製品を寄贈する取り組みを行っています。

※屏風の画像が必要な場合はご連絡ください。